

## Game on English

### ニュージーランド(NZL)・オタゴ大学でのボート&英語短期研修(留学)プログラム

#### 【提案者】

- Mr. Glen Sinclair (グレン・シンクレア氏) glen@ourc.org.nz  
NZL ボート連盟理事 (大学ローイング委員長) /オタゴ大学ボート部 CEO 兼ヘッドコーチ
- Mr. Grant Hubbard (グラント・ハッバート氏)  
オタゴ大学語学センターマーケティングディレクター
- Ms. Fiona Haiko (フィオナ・ハイコ氏)  
NZL 大使館教育担当官

#### 【受け入れ先】

##### University of Otago (オタゴ大学)

- ・ニュージーランド南島の東南部にあるダニーデン市 (人口 11 万人強、南島第 2 の都市) にある。治安は非常に良い。
- ・オタゴ大学ボート部は 16 年連続で全 NZL 大学選手権で勝ち続けており、NZL 代表クルーへ多くの選手を送っている。2012 年ロンドンオリンピックにオタゴ大学から 7 名の選手が参加し、金 2 個、銅 2 個のメダルを獲得した。

#### 【プログラムの特徴】

- 1) 発足 : 2014 年、日本と NZL の政府間合意に基づき、日本の高校生・大学生を対象にした 3~5 週間のスポーツ&英語留学プログラム (Game on English) が発足した。まずラグビーで開始され、石見智翠館高校の 10 名の女子ラグビー選手と関東高校スーパーリーグの男子ラグビー選手 11 名が NZL に派遣された。
- 2) プログラムの拡大 : このプログラムをボートにも広げるために、オタゴ大学ボート部が対応要請を受けた。
- 3) 対象者 : 高校生もしくは大学生でポテンシャルを持ったボート選手。チーム単位 (コーチを含む) または個人単位でも可。最大で 1 回 20 名まで。
- 4) 期間 : NZL のボートシーズン (夏休み) である 10 月~2 月の中で 3~10 週間 (5 週間を推奨) 。
- 5) 施設 : NZL で最も恵まれたボート環境 (ボートコース、ボートハウス、インドアローイングタンク、エルゴルーム、トレーニングルーム、キッチン、事務所等)。さらに徒歩 5 分以内に寄宿舎と語学学校がある。
- 6) コーチング : オタゴ大学のシニア選手のコーチ陣の中からトップコーチが指導に当たる。同行の日本のコーチと一緒に指導することも可。
- 7) 期待される成果 :
  - ・ボートと英会話の両方の能力を高めることができる。
  - ・トップクルーの場合、5 週間のトレーニングでタイムを 10 秒早くすることが可能 (シンクレア氏談)。
- 8) 費用 :
  - ・航空運賃 (日本⇄オークランド⇄ダニーデン) : 約 30 万円前後 (時期、航空会社により異なります)
  - ・現地滞在費 (宿泊費、食費、国内交通費、ボート関連設備・トレーニング機器等使用料、ボートのコーチ料、英語指導料を含む。) : 1,200NZL \$ /週 (約 11 万円)

#### 【参加選手の募集】

- ・希望する団体 (高校、大学、クラブ等) または個人は、オタゴ大学ボート部 CEO 兼ヘッドコーチの **グレン・シンクレア氏 (glen@ourc.org.nz)** と個別交渉してください。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

公益社団法人 日本ボート協会事務局 相葉 繁 (国際業務担当) s.aiba@jara.or.jp